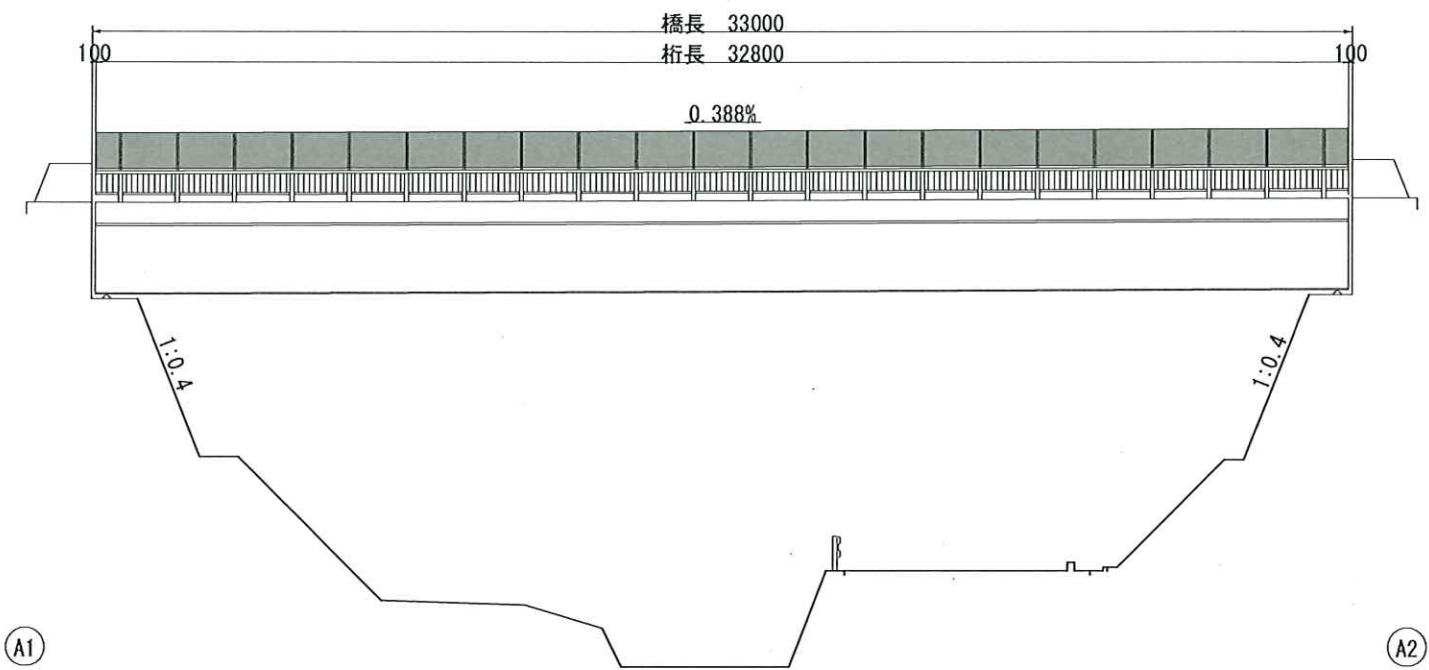
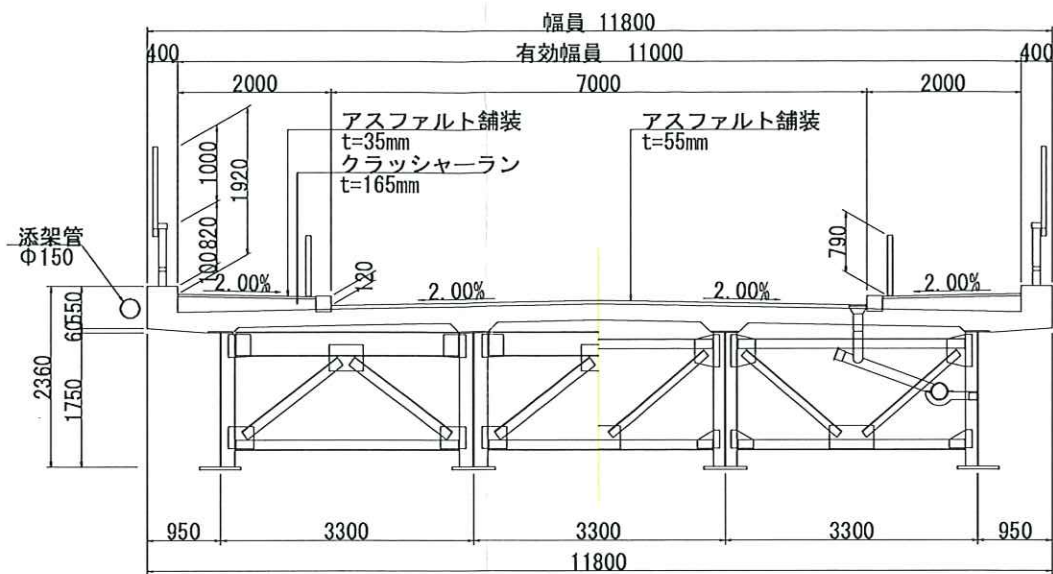


木城大橋 橋梁一般図

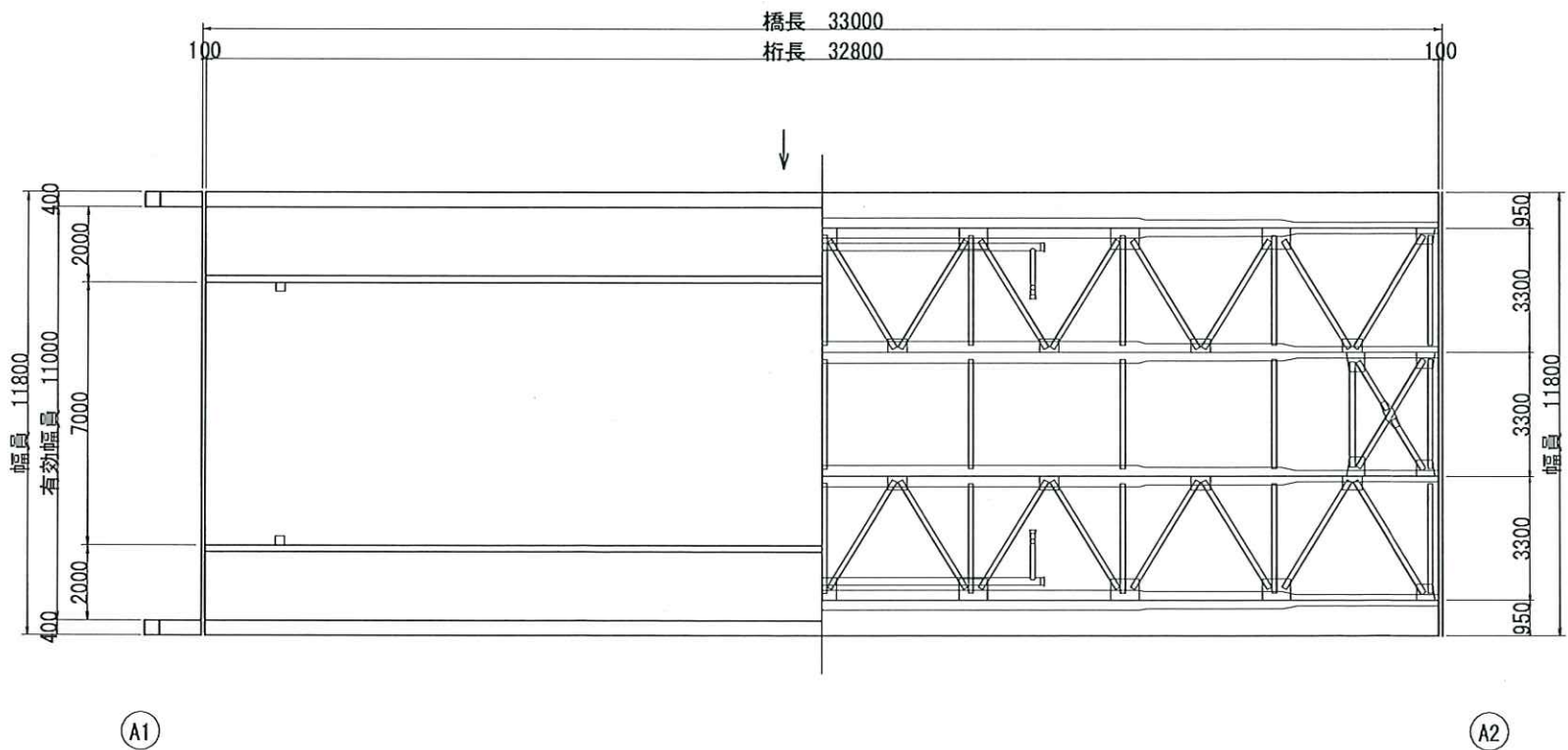
側面図 S=1:100



断面図 S=1:50



平面図 S=1:100

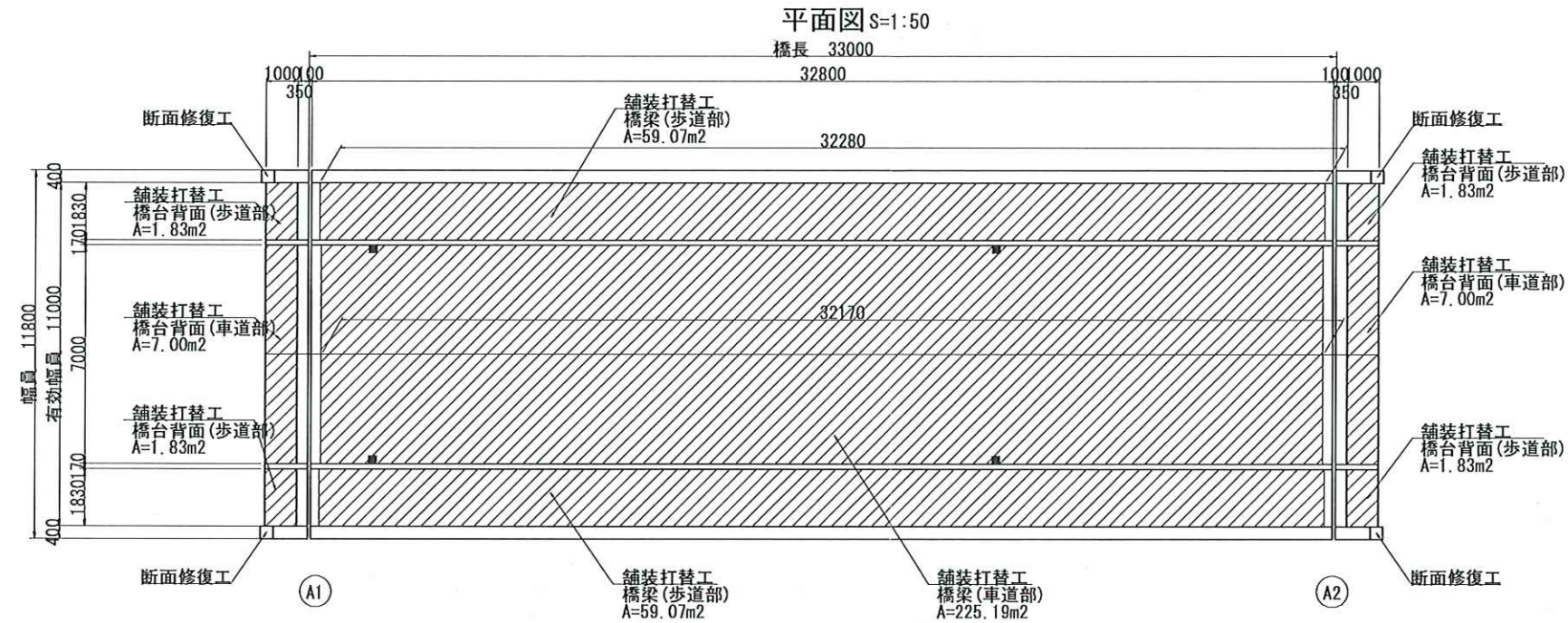


既設橋梁諸元

橋名	木城大橋 (キシロオオハシ)
路線名	大谷・柿ノ木線
設計活荷重	1等橋 (TL-20)
橋長	33.00 m
幅員	11.80 m
上部工	単純 I 桁橋
下部工	重力式橋台
基礎工	杭基礎 (PC杭)
架設年次	1975年 (昭和50年)
所在名	嘉麻市上山田地内

工事名	木城大橋補修工事
図面名	橋梁一般図
作成年月日	令和5年 2月
縮尺	図示 図面番号1
会社名	東日設計コンサルタント株式会社
発注者名	嘉麻市役所 土木課

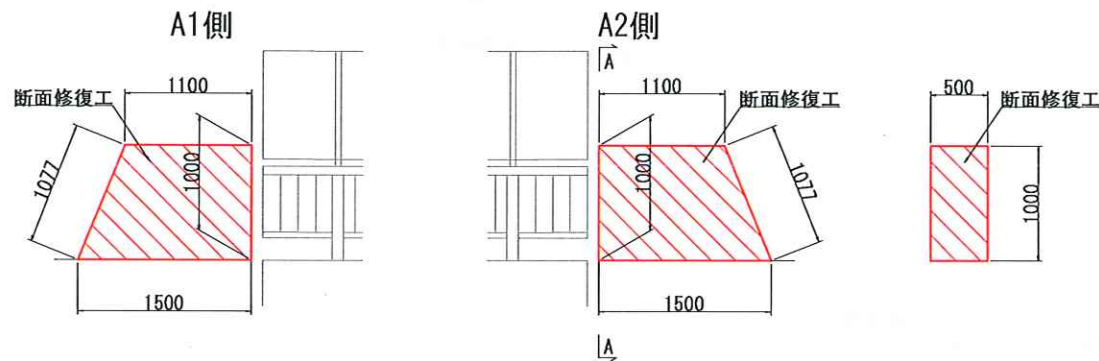
木城大橋 舗装打替工詳細図 (その1)



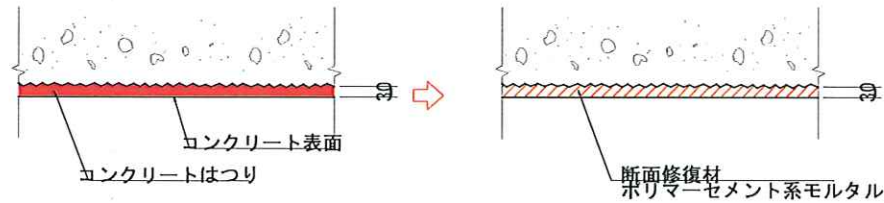
断面修復工詳細図=1:30

側面図

A - A

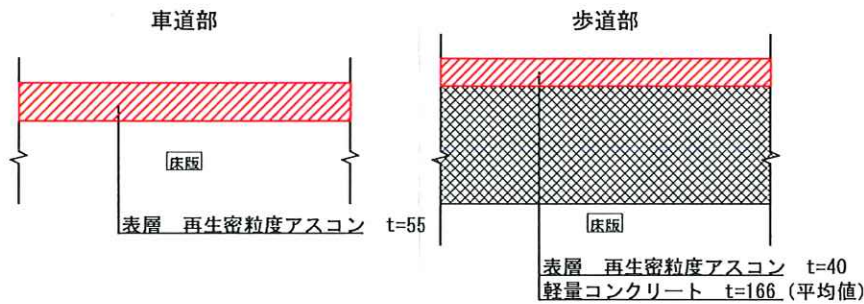


断面修復工概要図



断面修復工 (鉄筋露出なし) 寸法表						【上部工】	
記号	H (m)	W (m)	t (m)	N (個)	断面修復体積 (m ³)	備考	
1	1.00	1.30	0.03	8	0.3120	床版	(1.10+1.50)/2=1.30
2	1.08	0.50	0.03	4	0.0648	床版	
3	1.10	0.50	0.03	4	0.0660	床版	
4	1.00	0.50	0.03	4	0.0600	床版	
合計					0.5028		

舗装構成図=1:5
アスファルト舗装

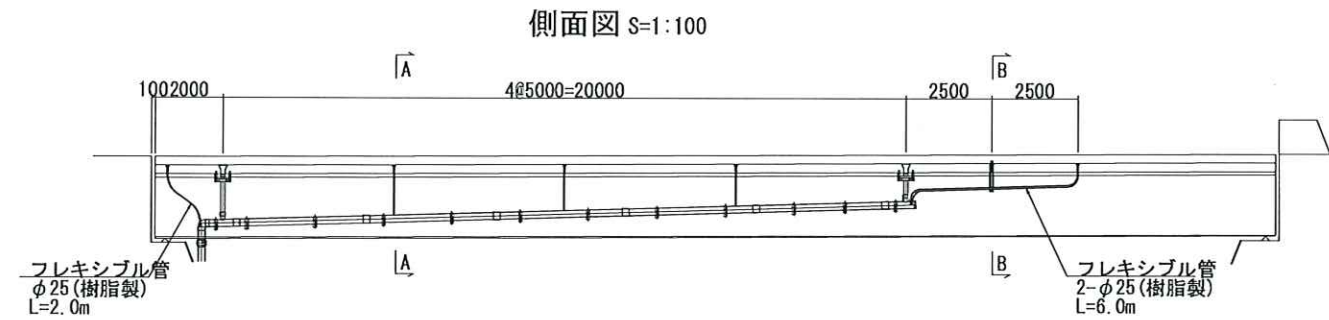
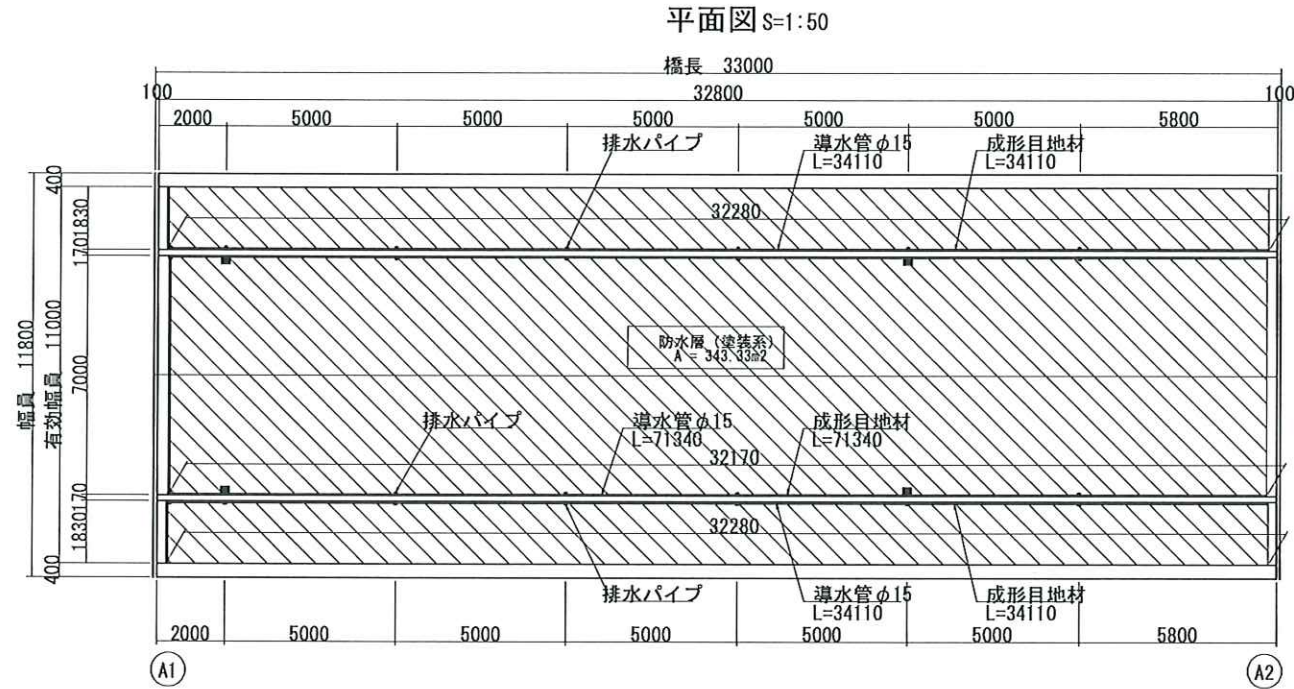


舗装工数量表			(1橋当り)	
名 称	単位	規格・寸法	数 量	適 要
アスファルト舗装	m2	橋梁部	239.19	再生密粒度アスコン t=55mm
	m2	歩道部	125.46	再生密粒度アスコン t=40mm
軽量コンクリート	m2	歩道部	125.46	比重1.75 t=166mm

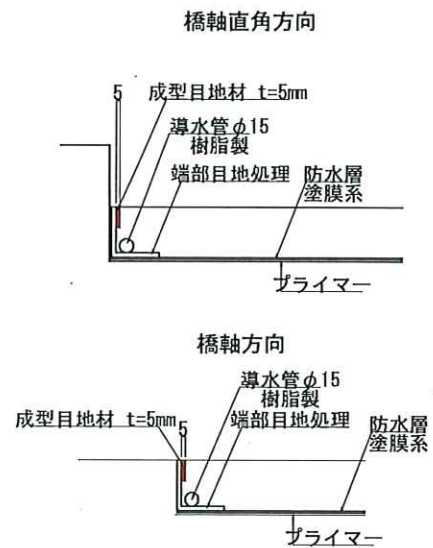
注) 形状寸法及び損傷寸法については、現地調査によるものである。施工にあたっては、再度現地計測を行い、必要に応じて変更の上、施工を行うこと。

工事名	木城大橋補修工事		
図面名	舗装打替工詳細図(その1)		
作成年月日	令和5年 2月		
縮尺	図示	図面番号	3
会社名	東日設計コンサルタント株式会社		
発注者名	嘉麻市役所 土木課		

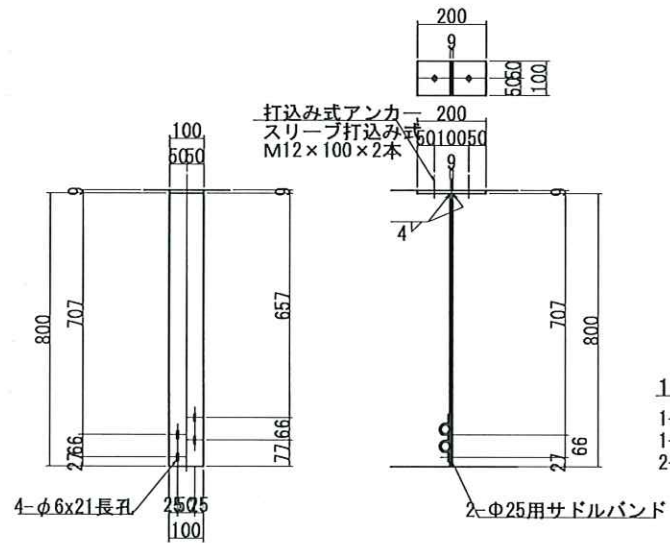
木城大橋 床版防水工詳細図



防水層詳細図s=1:5

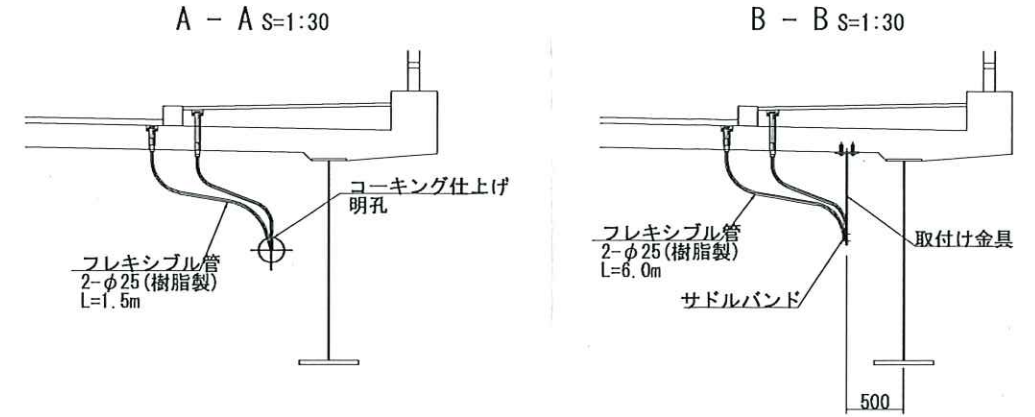


取付け金具詳細図1:5

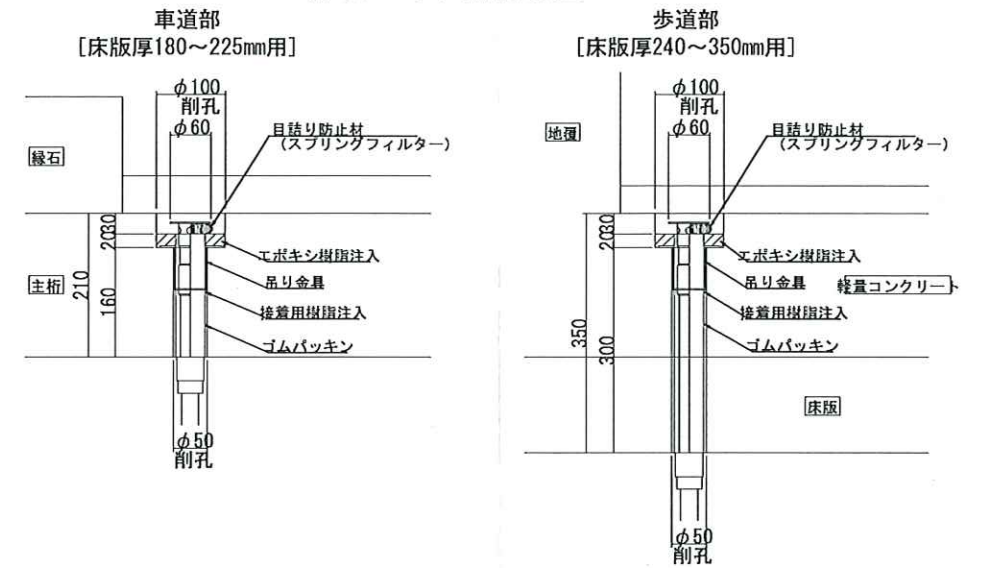


1ヶ所当り材料

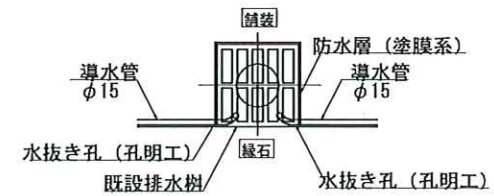
- 1-PL 100x9x200 (SM400A)
1-PL 100x9x800 (SM400A)
2-BN M12×40 (2W付)



排水パイプ部詳細図=1:5



平面图\$=1:10\$



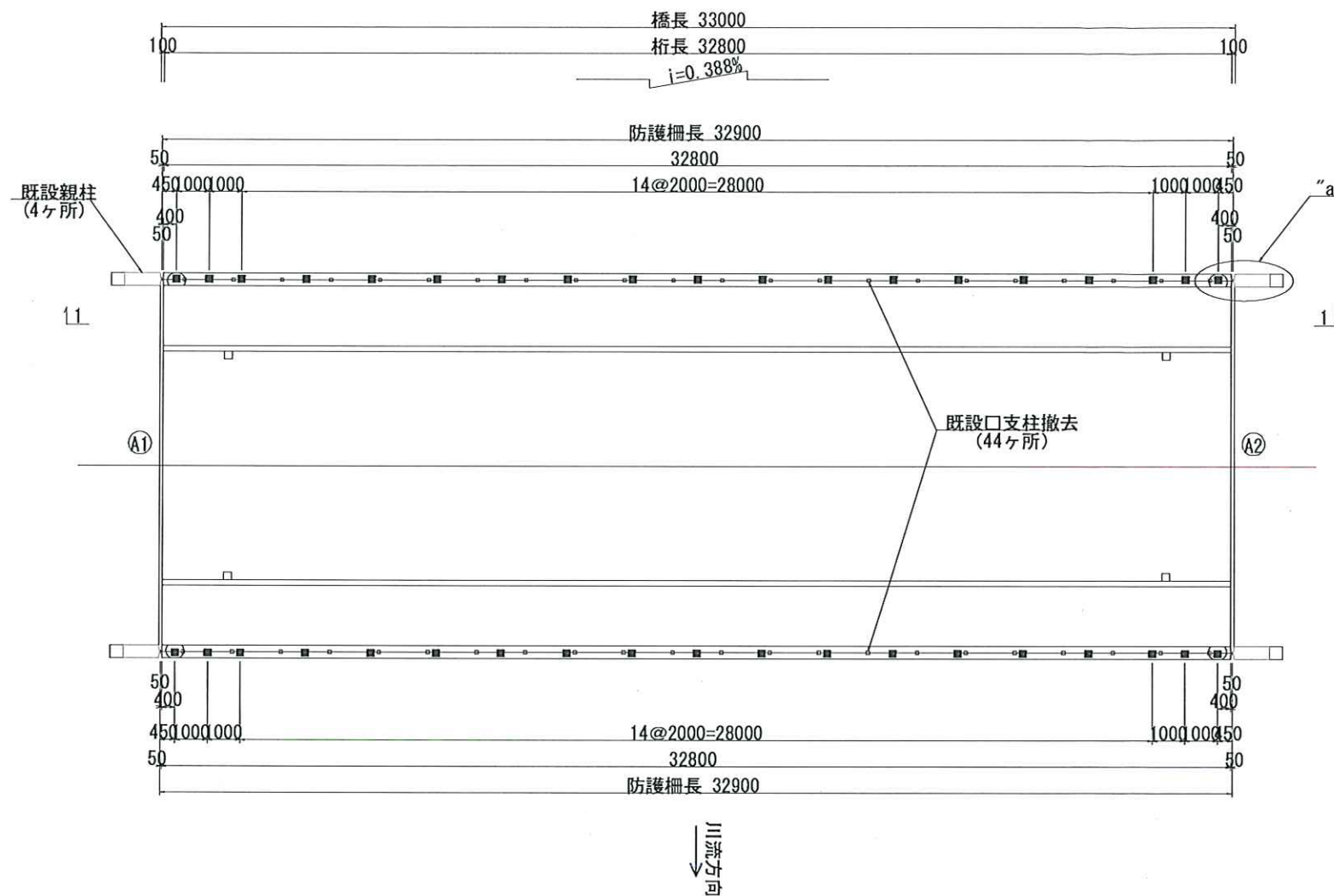
名 称	仕 様	単 位	数 量	摘 要
防水層	塗膜系	m ²	343.3	
導水管	φ15 樹脂製	m	139.6	
成形目地材	t=5mm	m	139.6	セロシールSS 同等品以上
端部目地処理	w=150mm	m	139.6	シルバーメッシュ 同等品以上
排水パイプ		相	10	床版厚180~225mm用
		相	14	床版厚240~350mm用
フレキシブル管	φ25 樹脂製	m	56.0	L=4x6.0+16x1.5+4x2.0=56.0m
サドルバンド	φ25用 SUS	相	4	
1-PL100x9x200	SW400A	個	2	
1-PL100x9x800	SW400A	個	2	
アンカーボルト	BN M12×40	本	4	(2R付)

注) 形状寸法及び損傷寸法については、現地調査によるものである。施工にあたっては、再度現地計測を行い、必要に応じて変更の上、施工を行うこと。

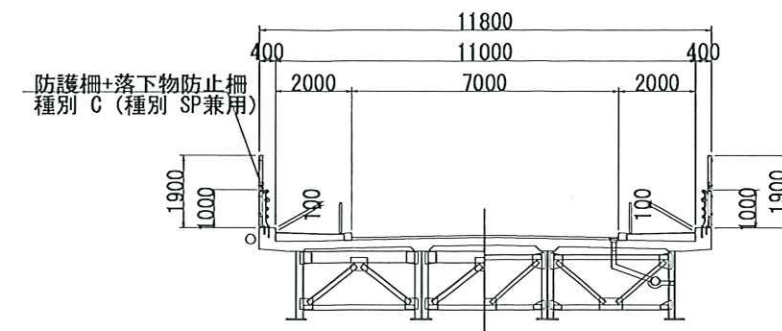
工事名	木城大橋補修工事		
図面名	床版防水工詳細図		
作成年月日	令和5年 2月		
縮尺	図 示	図面番号	5
会社名	東日設計コンサルタント株式会社		
発注者名	嘉麻市役所 土木課		

木城大橋 防護柵取替工詳細図（その1）

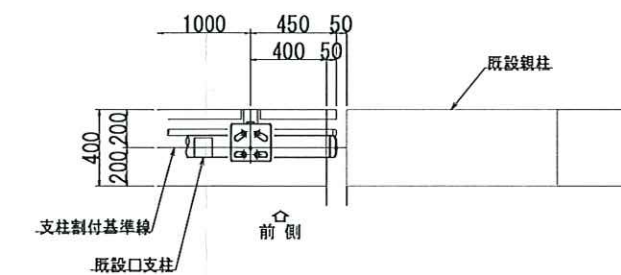
支柱割付平面図=1:100



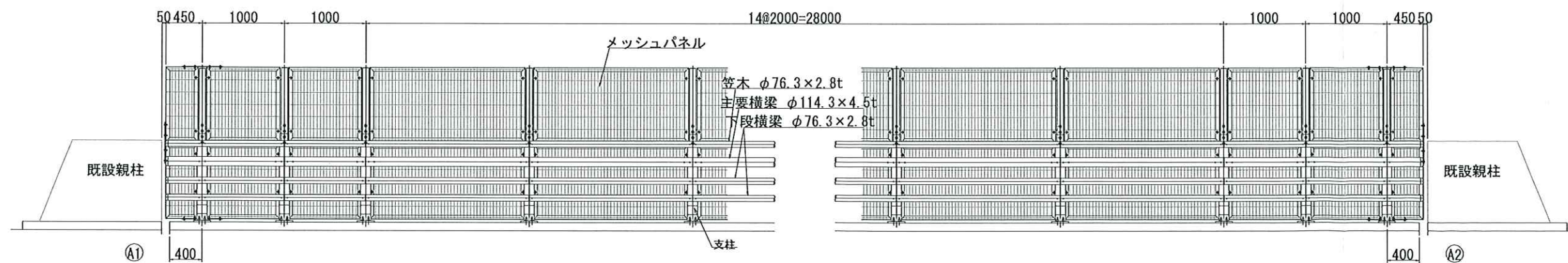
断面図S=1:100



"a"部詳細図=1:20



1 - 1S=1:30



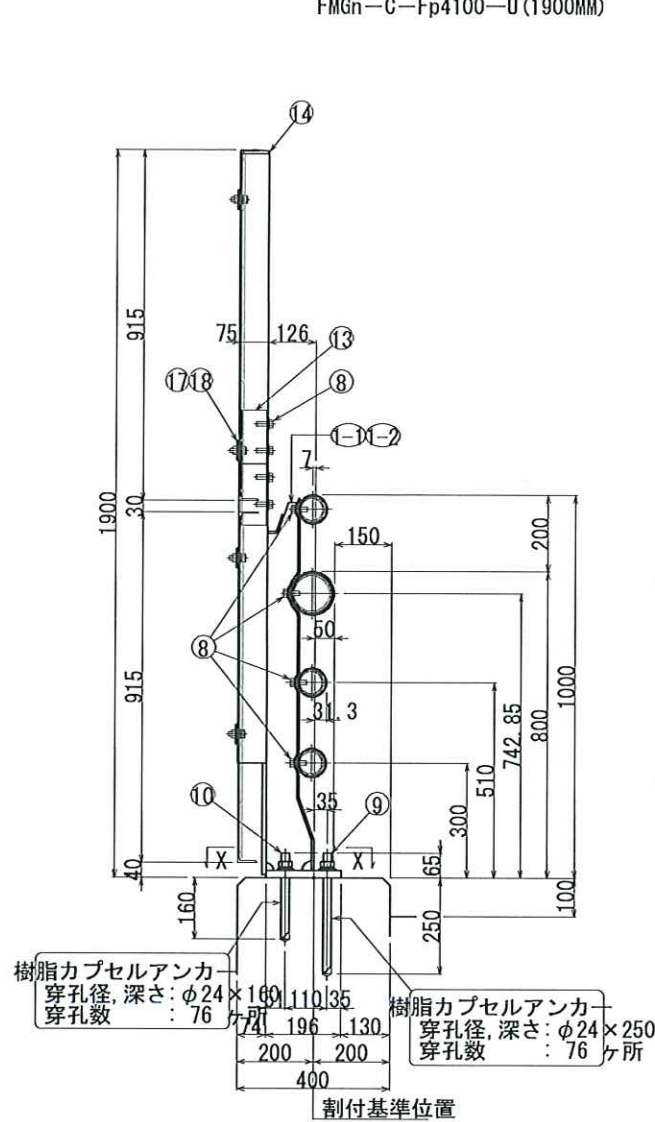
注) 形状寸法及び損傷寸法については、現地調査によるものである。施工にあたっては、再度現地計測を行い、必要に応じて変更の上、施工を行うこと。防護柵長は支柱割付基準位置の実長を示す。

工事名	木城大橋補修工事
図面名	防護柵取替工詳細図(その1)
作成年月日	令和5年 2月
縮尺	図示 図面番号6
会社名	東日設計コンサルタント株式会社
発注者名	嘉麻市役所 土木課

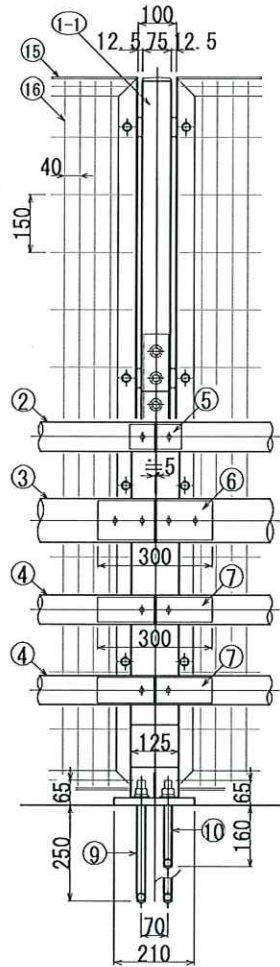
木城大橋 防護柵取替工詳細図 (その2)

一体型防護柵詳細図1:10

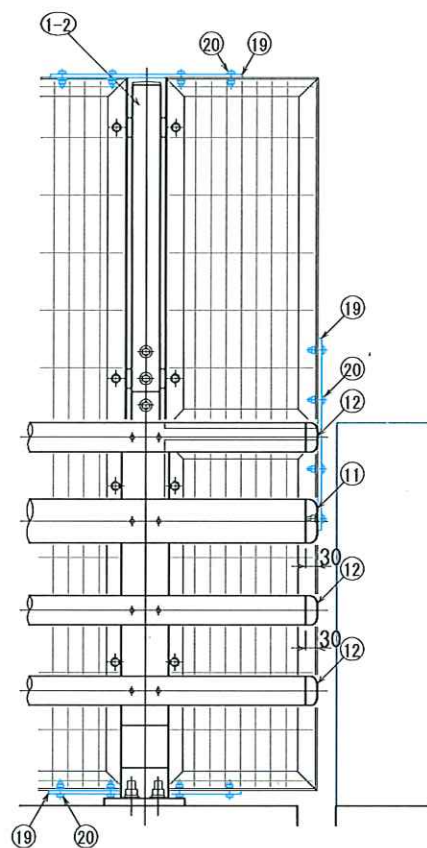
種別 C 防護柵 + 落下物防止柵
FMGn-C-Fp4100-U(1900MM)



中間部
(34ヶ所)

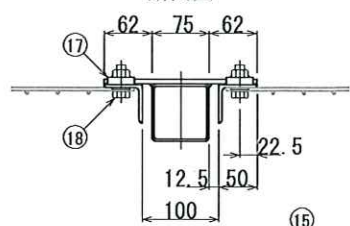


端末部
(4ヶ所)

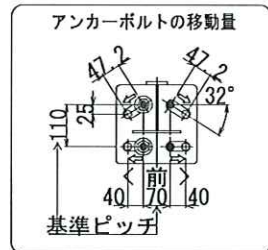
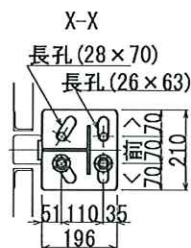
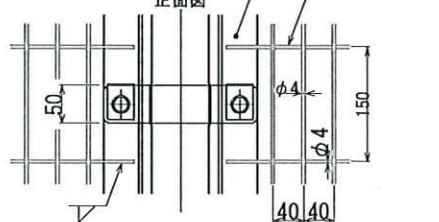


取付部詳細図1:5

断面図



正面図



基準ピッチで地覆鉄筋に当たる場合は矢印の方向へ回避する。

別途手配品＜参考＞

樹脂カプセルアンカー	数量
前側: M20用 (TG-20LN) ロングタイプ	76
後側: M20用 (TG-20EN) ショートタイプ	76

材料表

FMGn-C-Fp4100-U(1900MM)

(種別 C) めっき仕様

符号	名称	寸法	材質	単位質量	数量	質量	表面処理
1-1	支柱〈中間部用〉	H1000×196×125/210 □75×75×3.2t	SS400 STKR400	28.54	34	970.4	HDZT7QHDZT49+工場塗装
1-2	〃〈端末部用〉	H1000×196×125/210 □75×75×3.2t	SS400 STKR400	28.47	4	113.9	〃 (HDZT49+工場塗装)
2	笠木	φ76.3×2.8t	STK400	5.08	65.510 m	332.8	HDZT5QHDZT49+工場塗装
3	主要横梁	φ114.3×4.5t	〃	12.20	65.510 m	799.2	HDZT7QHDZT49+工場塗装
4	下段横梁	φ76.3×2.8t	〃	5.08	131.020 m	665.6	HDZT5QHDZT49+工場塗装
5	スリーブ	φ65.0×4.0t×135	〃	0.81	34	27.5	HDZT7QHDZT49+工場塗装
6	〃	φ101.6×4.5t×300	〃	3.23	34	109.8	〃 (HDZT49+工場塗装)
7	〃	φ65.0×4.0t×300	〃	1.80	68	122.4	〃 (HDZT49+工場塗装)
8	取付ボルト	M12×35 (W1, SW1)	強度区分6.8 以上	0.06	524	31.4	HDZT49 (HDZT49)
9	アンカーボルト	全長: I-M20×315 (N1, W1, SW1)	〃	0.74	76	56.2	〃 (HDZT49)
10	〃	全長: I-M20×225 (N1, W1, SW1)	強度区分4.6 以上	0.56	76	42.6	〃 (HDZT49)
11	キャップ	φ114.3×30	AC4C	0.47	4	1.9	— (工場塗装)
12	〃	φ76.3×30	〃	0.24	12	2.9	— (工場塗装)
13	スリーブ	□65×65×4.5t×300	SS400	1.80	38	68.4	HDZT7QHDZT49+工場塗装
14	キャップ	□75×75×10	AC4C	0.23	38	8.7	— (工場塗装)
合計						3353.7 kg	
15	フレーム	L50×L50×4t (80 枚)	SS400	3.06	378.400 m	1157.9	HDZT7QHDZT49+工場塗装
16	メッシュパネル	縦横φ4:40×150 (80 枚)	SWM-P	3.06	109.548 m ²	335.2	HDZT5QHDZT49+工場塗装
17	クリップ付ナット	M12用	SS400	0.05	304	15.2	HDZT49 (HDZT49)
18	取付ボルト	M12×35 (W1, SW1)	強度区分4.6 以上	0.06	304	18.2	〃 〃
19	端部接合板	9t×50×500	SS400	1.70	12	20.4	HDZT7QHDZT49+工場塗装
20	取付ボルト	M10×35 (N1, W2, SW1)	強度区分4.6 以上	0.06	48	2.9	HDZT49 (HDZT49)
合計						1549.8 kg	
総合計						4903.5 kg	
一体型防護柵長65.800 m							
・端末処理: 4ヶ所 [落下物防止柵]							
{ 使用支柱: 0%支柱 38本 }							
特記) 橋梁用ビーム型防護柵は(一社)全国高欄協会にて認定された静荷重試験機により性能確認された製品とする。							
() は塗装品の場合。							

注 記

- 本防護柵の設計仕様は「防護柵の設置基準・同解説」(令和3年3月)による。
* コンクリート設計基準強度 $\sigma_{ck} = 21 \text{ N/mm}^2$ 以上
- 風荷重は「道路橋示方書・同解説」(平成29年11月)による。
- アンカーボルトは地覆鉄筋を回避する仕様とする。
- 樹脂カプセルアンカーは別途手配品とする。

注) 形状寸法及び損傷寸法については、現地調査によるものである。施工にあたっては、再度現地計測を行い、必要に応じて変更の上、施工を行うこと。防護柵長は支柱割付基準位置の実長を示す。

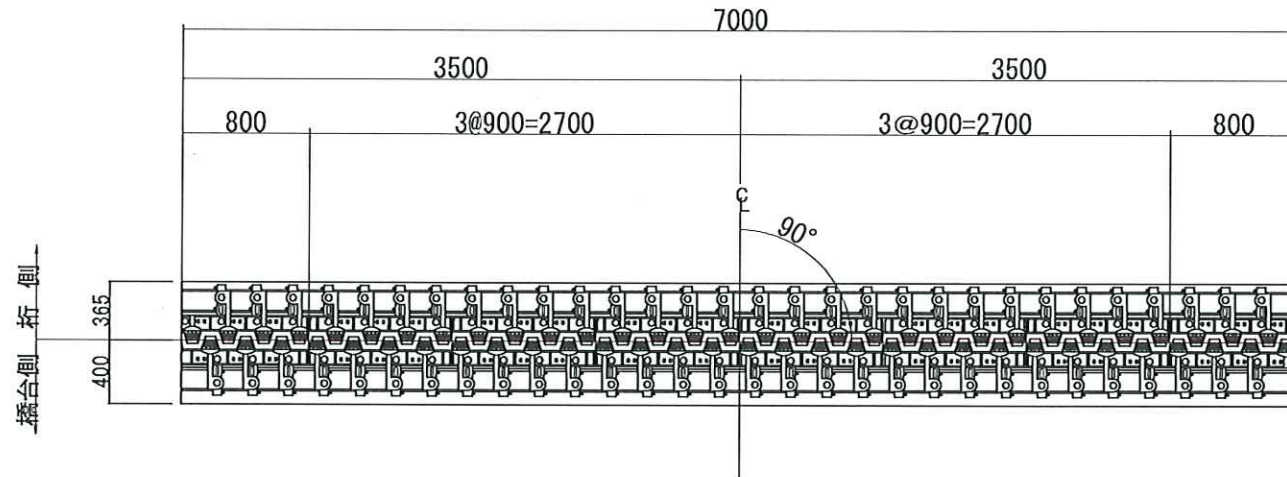
工事名	木城大橋補修工事
図面名	防護柵取替工詳細図(その2)
作成年月日	令和5年 2月
縮尺	図示 図面番号 7
会社名	東日設計コンサルタント株式会社
発注者名	嘉麻市役所 土木課

木城大橋 伸縮装置取替工詳細図 (その1)

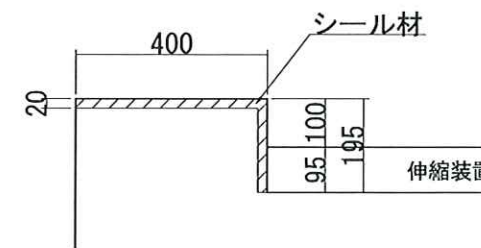
A1, A2 (車道部)

配置図 S=1:30

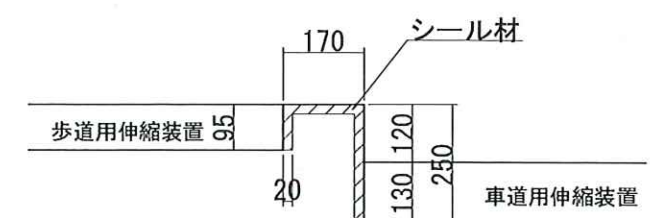
(A1, A2)



地覆部詳細図=1:10

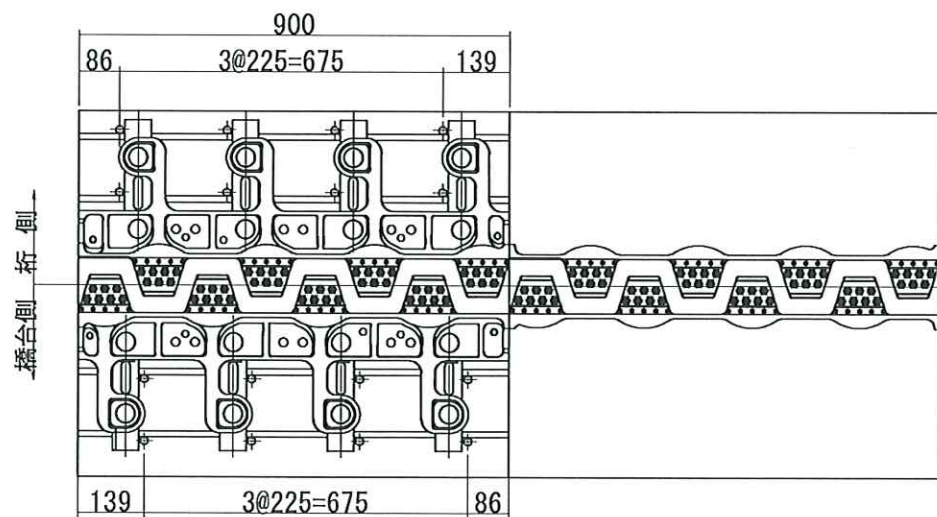


縁石部詳細図=1:10



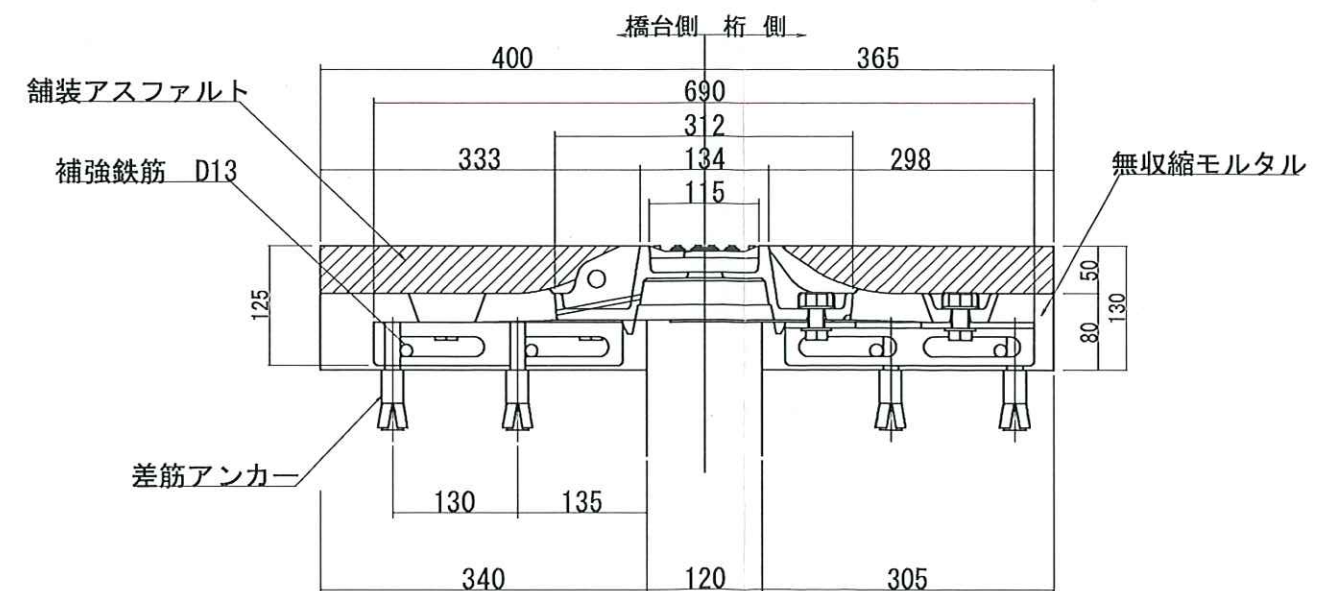
標準取付平面図=1:10

(A1, A2)



標準取付断面図=1:5

(A1, A2)



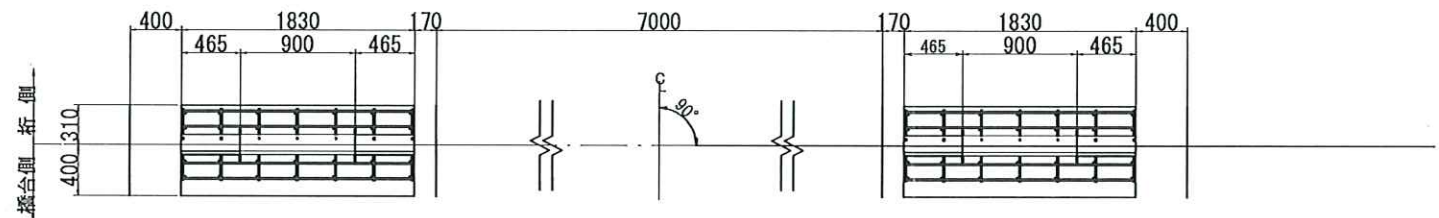
注) 形状寸法及び損傷寸法については、現地調査によるものである。施工にあたっては、再度現地計測を行い、必要に応じて変更の上、施工を行うこと。表層材は無収縮モルタル硬化後に施工を行うこと。伸縮装置本体の連結は、伸縮装置の施工手順書を参照すること。

工事名	木城大橋補修工事
図面名	伸縮装置取替工詳細図(その1)
作成年月日	令和5年 2月
縮尺	図示 図面番号 8
会社名	東日設計コンサルタント株式会社
発注者名	嘉麻市役所 土木課

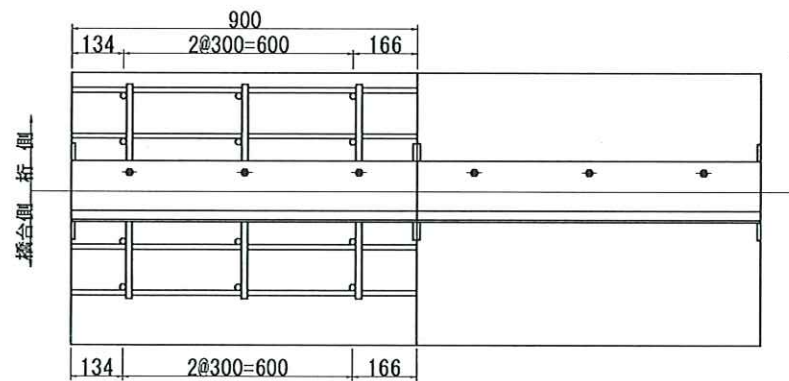
木城大橋 伸縮装置取替工詳細図（その2）

A1, A2 (歩道部)

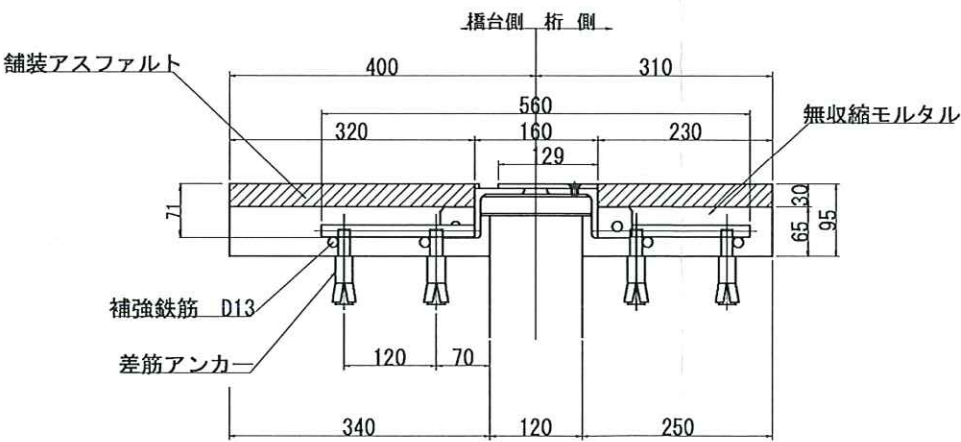
配置図 S=1:30
(A1, A2)



標準取付平面図=1:10
(A1, A2)



標準取付断面図=1:5
(A1, A2)



伸縮装置集計表

品名	仕様・規格	単位	A1		A2		合計	備考
			車道用	歩道用	車道用	歩道用		
伸縮装置	HDJ-CV-R60 (性能・材料費) 同等以上	m	7.000	—	7.000	—	14.000	鋳鉄製・荷重支持型(別途副資材必要)
	HDJ-CV-R40 (性能・材料費) 同等以上	"	—	3.660	—	3.660	7.320	鋼製・歩道用(別途副資材必要)
補強鉄筋	4-D13×7.00	kg	27.86	—	27.86	—	55.72	0.995kg/m
	8-D13×1.83	"	—	14.57	—	14.57	29.14	
	計	"	27.86	14.57	27.86	14.57	84.86	
差筋アンカー	D16	本	120	56	120	56	352	
無収縮モルタル	σck=24N/mm ² 以上	m ³	0.364	0.139	0.364	0.139	1.006	
アスファルト		"	0.224	0.062	0.224	0.062	0.572	

型式	規格	単位	A1		A2		合計	備考
			車道用	歩道用	車道用	歩道用		
HDJ-CV-R60 (性能・材料費) 同等以上	定尺 (L=900)	本	6	—	6	—	12	鋳鉄製・荷重支持型
	端部	"	2	—	2	—	4	
HDJ-CV-R40 (性能・材料費) 同等以上	定尺 (L=900)	"	—	2	—	2	4	鋼製・歩道用
	端部	"	—	4	—	4	8	

注) 形状寸法及び損傷寸法については、現地調査によるものである。施工にあたっては、再度現地計測を行い、必要に応じて変更の上、施工を行うこと。表層材は無収縮モルタル硬化後に施工を行うこと。伸縮装置本体の連結は、伸縮装置の施工手順書を参照すること。

工事名	木城大橋補修工事
図面名	伸縮装置取替工詳細図(その2)
作成年月日	令和5年 2月
縮尺	図示 図面番号9
会社名	東日設計コンサルタント株式会社
発注者名	嘉麻市役所 土木課